

2007年11月15日

報道関係各位

## ミスミグループ本社 2007年9月期 中間連結業績を発表

—売上高・営業利益・純利益ともに中間期の過去最高を更新—

株式会社ミスミグループ本社（本社：東京都江東区、社長：三枝匡）は本日、2007年9月期（2007年4月1日～2007年9月30日）の中間連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

	<u>2006年9月期</u>	<u>2007年9月期</u>	<u>増減率</u>
	百万円	百万円	%
売上高	58,136	61,294	+5.4
営業利益	8,047	8,142	+1.2
中間純利益	4,838	5,568	+15.1
1株当たり中間純利益	55.72円	63.09円	+13.2

2007年9月期の中間連結業績ハイライトは以下の通りです。

### 1. 売上高は6期連続、営業利益・純利益は5期連続で過去最高を更新

- 2007年9月期は、売上高が前期比5.4%増の612億円、営業利益は前期比1.2%増の81億円、純利益は前期比15.1%増の55億円となり、売上高は6期連続、営業利益と純利益は5期連続で過去最高を更新し、継続的な高成長・高収益を実現しています。
- 日本では景気の減速感が続き、海外では欧州、アジア、中国が安定した成長を示したものの、米国では不動産価格の下落により金融部門の混乱などが生じました。このような状況の中、当社グループは継続的な新商品の開発、顧客ニーズに基づくプライスダウン、タイムリーな新規カタログ発行、インターネット販売用ウェブサイトの充実化等による積極的な販売促進策を展開する一方、顧客の求める短納期化ニーズに応える施策を進めてまいりました。この結果、自動化事業、金型部品事業の2大基幹事業、およびエレクトロニクス事業、光関連事業において売上を伸ばし今中間期も過去最高を更新することができました。

### 2. 全事業部門で強い成長性を維持

- 2007年9月期の事業部門別売上高は多角化事業を除く全事業部門で安定して成長することができました。なお、多角化事業の前期実績には2006年10月に連結対象外となった㈱マルチビッツの売上を含んでおり、これを除く実質的な売上は前年対比で伸長となります。
- 売上高は自動化事業で前期比6.0%増の293億円、金型部品事業で5.4%増の168億円、エレクトロニクス事業で5.2%増の61億円、光関連事業では46.8%増の29億円となりました。自動化事業、金型部品事業、エレクトロニクス事業では新商品の積極的な投入や納期短縮、値下げなどにより売上を拡大、光関連事業では計測機器や光センサー、光通信向けのシステムを中心に売上を大きく拡大することができました。

### 3. 海外比率が前期比3.7ポイントアップの20.2%に増加—国内外でミスミQCTモデルを拡大

- これまでに現地通貨・現地語カタログを7拠点で22種類発刊し、また、2007年7月に「駿河ポーランド工場」の操業を開始したことで海外生産拠点は9拠点、海外物流拠点は7拠点となりました。こうした製販一体のグローバル展開を積極的に取り組んだ結果、2007年9月期の海外売上高は123億円と29.1%の成長を実現し、海外売上高比率は前期比3.7ポイント増の20.2%に急伸することができました。
- さらに国内では、独立した機械部品メーカーをひとつの場所に集めた日本初の集合生産基地「ミスミ生産パーク」を神戸市に設立し稼働を開始しました。東日本に多く所在している機械部品メーカーを西日本に誘致することで自然災害などによる製品の供給リスクを分散し、さらにはミスミグループの西日本物流センター近くに立地させることで物流コストを低減することができます。

### 4. 中間配当は前期比1円の増配

- 当社は「グループ連結純利益の20%以上」の年間配当方針を掲げる中、2007年9月期の1株当たりの中間配当金を前期比1円増の11円としました。
- 安定的な配当の継続に努めた上で、内部留保金については財務体質の充実・強化を図りながら、長期安定的な経営基盤の確立に向けた商品力・サービスの向上と国内外の仕入・販売体制の整備などに活用していきます。

### 5. (株)ミクリードの株式譲渡に伴い、2008年3月期売上高の業績予想を修正、営業利益、純利益は前回公表した予想通り維持見込む

- 国内では企業業績は好調に続くと思われるものの、設備投資の拡大基調が一服し、今後は緩やかな漸増へと変化すると見込んでいます。一方、海外では積極的な拡販政策の成果により一層の売上高の伸長を見込んでいます。これらを踏まえ、2008年3月期の業績は、2007年10月に株式譲渡を行った(株)ミクリードの売上高減少分のみを考慮し、売上高を前期比8.3%増の1,280億円に修正いたします。なお、営業利益、純利益につきましては従来予想を据え置きます。(詳細は下記の表をご参照ください)。

#### 2008年3月期の業績予想(連結)(2007年4月1日~2008年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	128,000	15,900	16,100	9,450	106.78

#### 【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2008年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社及び当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2007年9月期の当社中間連結業績の詳細は別添の決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ  
株式会社ミスミグループ本社  
経営総務室 広報・IR担当  
Tel : 03-3647-7037 Fax : 03-3647-5802  
電子メール : cc@misumi.co.jp